

進化^{する}ヤマトのネットワーク

ヤマトグループでは、宅急便サービスの品質向上、スピードアップはもちろん、近年では、市場ニーズの変化に先立ち、「アジア地域への事業エリアの拡大」「新たな事業領域の創造」を進めています。2013年は、大都市圏で当日配送を実現するための物流施設「厚木ゲートウェイ」、陸海空を結ぶ日本最大級の総合物流ターミナル「羽田クロノゲート」が始動。アジアへの翌日配達を可能とする「沖縄国際物流ハブ」、アジア各地の宅急便も含めたこれらのネットワークの進化で、幅広いお客様や企業の物流を支援するヤマトグループならではの新しい流通プラットフォームの構築を目指します。



アジアに広がる宅急便ネットワーク

アジア市場の成長とボーダレス化、経済活動のグローバル化が加速する中、宅急便で扱う荷物自体が国境を越える機会が増えてきました。そこでヤマトグループでは、高品質かつスムーズな物流サービスの提供を通じてお客様の利便性の向上を実現させるため、アジア圏への宅急便ネットワークの拡大や国際一貫輸送サービスの拡充など、海外展開を加速させています。

また、日本-アジア間だけでなく、香港-マレーシア、上海-シンガポールなど、海外と海外を結ぶ国際宅急便にもさらに注力していきます。



国際宅急便の翌日配達 沖縄国際物流ハブを活用

ヤマトグループは全日本空輸(ANA)との連携を通じて、2012年11月15日より、那覇空港内の物流ハブ機能を活用した国際間の小口一貫輸送を開始し、アジア宅急便の展開地域へ、書類の最短翌日配達を可能とするサービスを実現しました。

2013年度は、書類以外の荷物の最短翌日配達を開始、国際クール宅急便の本格的な商品化に向けた準備も進めます。国際クール宅急便が実現すれば、日本の食材を翌日のアジア各国の夕食のテーブルに載せることも可能になり、TPPへの参加、農業改革が大きなテーマとなる中、日本製品の輸出支援を下支えする重要な仕組みになると考えています。また、この沖縄国際物流ハブの機能を活用することで、アジア圏でのメーカー製品の回収・修理、緊急サービスパーツの供給、組立加工といった流通支援も展開していく計画です。



- 医療機器・医療用器械(手術用工具)のレンタル事業を支援するサービス
- 家電の回収・修理・完了品返送までをワンストップで提供するサービス
- 各工場から集まってきた製品を集約、組立を行うサービス など

ーク



物流を変える！
多機能物流ターミナル
「羽田クロノゲート」

東名阪の当日配達
「ゲートウェイ構想」で
実現

物流の陸海空のゲートウェイとして最適な羽田空港の隣接地に、ヤマトグループの国内配送ネットワーク、通関機能、倉庫機能ほか、さまざまな機能を集結・融合させた国内最大級の総合物流ターミナル「羽田クロノゲート」がこの秋、開業を迎えます。

ヤマトグループでは、スピードや品質、効率をさらに高めていくのはもちろんのこと、この「羽田クロノゲート」を通してすることで、お客様の利便性向上につながる高い付加価値を創出する、通過型ロジスティクスという新しい物流改革を発信していきます。例えば、企業間の納品物流や調達支援なども視野に入れており、「時空を超えた次世代の物流デザイン」の提供を目指すとともに、流通革命を起こすソリューション&ショーケース・ターミナルとして新たな可能性を追求し続けます。



羽田クロノゲート完成予想図

「羽田クロノゲート」の名前の由来
ギリシャ神話に登場する時間の神「クロノス」と日本とアジア・欧米に開く門「ゲート」の組み合わせによるネーミング。



厚木ゲートウェイ完成予想図

関東－中部－関西間における配達のリードタイムを短縮し、現在、全国の各地域内において実現している当日配達の範囲を拡大する「ゲートウェイ構想」を進めています。東名阪の大都市圏の入り口に「ゲートウェイ」と呼ぶ大型物流拠点を開設し、このゲートウェイ間の配送を常時行うことで広域における当日配達を実現します。

まずは第1号として2013年8月に「厚木ゲートウェイ」の完成を予定しており、あわせて名古屋圏、阪神圏におけるゲートウェイ設置の準備も進めています。